

森林機構の新任理事長に丹下氏

国立研究開発法人森林研究・整備機構（森林機構）の浅野（中静）透理事長の任期満了による退任に伴い、新任理事長に丹下健氏（たけし）が4月1日付で就任しました。丹下理事長は東京大学で大学院農学生命科学研究科付属演習林教授、同科学研究科長・農学部部長、副学長などを歴任しました。任期は2029年3月までで、森林総合研究所所長を兼務します。

春の一般公開に200人超

科学技術週間の一環として、森林総合研究所は4月25日、地域の方々などに研究所を知っていただくイベント「春の一般公開2026」を開催し、200人を超える方々が訪れました。

「無花粉スギの苗を大量に増やすには？」をテーマにした講演やボスター展示を通じて最新の研究成果を研究員が紹介するとともに、樹木園・木材標本室・実験住宅の各施設を案内。研究所の仕事に関する相談コーナー「研究所へのトビラ」を今回初めて設けて学生らの質問に応じました。



春の一般公開で無花粉スギの苗増殖について講演する鶴田燃海主任研究員。



樹木園の木々について研究員の説明を受ける見学者ら。



実験住宅について研究員の説明を受ける見学者ら。

一般公開はコロナ禍以降、予約制の平日開催としてきましたが、今年度は幅広い年代に会場していただきたいと、土曜に開催し、施設案内を除いて予約不要としました。

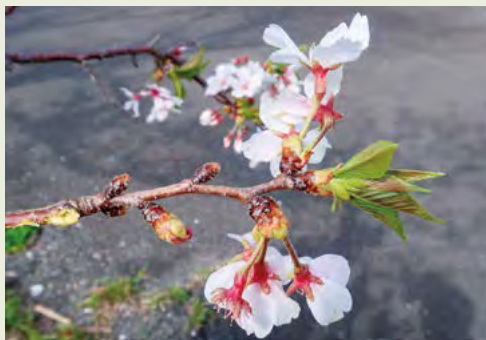
夏休み一般公開のお知らせ

小中学校の夏休みに合わせて、森林総合研究所は「夏の一般公開」（仮）も開催する予定です。詳細が決まりましたら公式サイトで案内します。

森林総合研究所プレスリリース

●温暖化による「染井吉野」の開花異常を確認―九州南部では新たなサクラの育成が必要―

森林総合研究所、鹿児島県森林技術総合センター、岡山理科大学、米国立公園局およびボストン大学の研究グループは、開花に必要な低温刺激*1が不足した場合、「染井吉野」*2に生じる開花異常の症状を詳細に解明しました。これまで低温刺激不足で「満開とならない」記録はありましたが、その実態は明らかではありませんでした。そこで、「染井吉野」の生育南限である鹿児島県を対象に、鹿児島地方気象台の過去の満開日の記録を熊本地方気象台の記録と比較するとともに、熊本県と岡山県を比較対象として鹿児島県内の調査地の開花状態を観測し、開花時期や開花状態と低温刺激との関係を分析しました。その結果、低温刺激が不足すると、開花日や満開日が遅れるとともに、



鹿児島県指宿市で見られた「染井吉野」の開花異常の枝。開花した花芽および蕾の花芽に加え、まったく成長していない花芽が混在している。また、開花時に葉が展開している。2022年4月5日 指宿市

花芽の生育不良などの異常が観察され、観賞価値が大きく損なわれていることが明らかとなりました。この成果は、身近な樹木が気候変動のモニタリング指標として活用できるとともに、将来のお花見のために暖冬の環境に適応している地元産のサクラを育成するなどの対策が必要であることを示しています。

本研究成果は、2026年4月1日に International Journal of Biometeorology誌とオンライン公開されました。

*1 低温刺激：温帯性落葉樹の多くは、冬の落葉時に冬芽をつくり休眠します。休眠から目覚める（休眠打破）ためには、ふつと冬季に低温刺激を受けることが必要です。休眠から目覚めた後は、高温刺激によって冬芽が成長し、開花や展葉します。
*2 「染井吉野」：エドヒガンとオオシマザクラとの種間雑種の栽培品種。ソメイヨシノと表記されることが多いが、カタカナで表記される標準和名ではエドヒガンとオオシマザクラの種間雑種のすべての個体を意味するため、ここでは栽培品種名を意味する「（シングルクォーター）シヨン」でくくって表記しています。

次号予告

9月発行の次号74号の特集テーマは「森林研究が紡ぎだす国際貢献（仮）」です。巻頭座談では、気候変動問題に取り組んでいるJICA（国際協力機構）の職員と弊所研究員が海外協力の現状や課題などについて語り合う予定です。お楽しみに。

＜持続可能な開発目標（SDGs）＞

森林総合研究所は、森林・林業・木材産業等の幅広い研究を通して、国連の持続可能な開発目標（SDGs）の達成に積極的に貢献しています。該当する目標と記事のページ数は、左記の通りです。



P.3,8,14,16,18



P.3,8,14,16,18



P.3,8,14,16,18



P.3,8,14,16,18



森林総合研究所に関するトピックやイベント、研究成果など最新情報は公式サイトで案内しています▶▶▶

お問い合わせ

森林総合研究所
企画部 広報普及科 広報係
TEL 029-829-8372
Email kouho@ffpri.go.jp

